

防寒着・防寒具について

生徒指導部

※ ウィンドブレーカー、またはコート（登下校時での着用）

○着用期間：特に指定しない。冬の制服やジャージを着用時で、寒く感じられたら着用してよい。

ウィンドブレーカー

- 上下分割タイプであること
- 色：特に指定しない
- 柄：無地を基本とする。ワンポイントマークや細めのラインや色の切り返しは良い。
- 部活動で購入した物
- 部活動で購入しない場合は各家庭で購入した物 ※部活動購入の物を目安

【着用不可な類】

- ・メーカーロゴ等のバックプリントがついている類
- ・キャラクター等のプリントがついている類
- ・派手なデザイン使いの類
- ・襟にしまえないフードやファー（装飾毛）がついている類
- ・ダウンジャケット類、カジュアルなジャンパーやブルゾン、作業用ジャンパーの類



コート

- 長さ：お尻より長く、膝よりも短いもの
- 色：特に指定しない
- 柄：無地
- 留め具：ボタンやファスナーで前面をとめられるもの

【着用不可な類】

- ・長さがお尻より短い、膝よりも長い類
- ・フードやファー（装飾毛）、装飾等がついている類
- ・ベンチ（グランド）コート類、フリース類

★着用するときの注意

- ・着用時にはファスナーやボタンを閉める。
- ・制服の下には着用しない。
- ・始業から終業までの間は、校舎内では着用しない。



※ マフラー・ネックウォーマー（登下校時での着用）

○着用期間：特に指定しない。冬の制服やジャージを着用時で、寒く感じられたら着用してよい。

- 色：表裏派手でないもの（白、黒、紺、灰、茶系統）
- 柄：無地を基本（派手でない細めのライン数本程度、ワンポイントは可）

【着用不可な類】

- ・極端に長いもの
- ・奇抜な色柄（チェック、水玉、絵柄など）のもの
- ・ファー類（装飾毛）

※ 手袋（登下校時での着用。外での活動や部活動で認められた時は着用可）

○着用期間：特に指定していない。手が冷たくてポケットに手を突っ込むと危険なので、冷たさを感じたら着用してよい。

- 色：派手でないもの（白、黒、紺、灰、茶系統）
- 柄：無地を基本（派手でない細いライン数本程度、ワンポイントは可）

【着用不可な類】

- ・奇抜な色柄（チェック、水玉、絵柄など）のもの
- ・ファー類（装飾毛）

★着用するときの注意

- ・マフラーは巻いた時に胸より低い位置に伸びない程度。（風になびいて事故の原因となることを防ぐため）。
- ・マフラー・ネックウォーマーや手袋は校舎内では着用しない（昇降口でとる・つける）。



※ 制服下のセーター類（日常生活での着用）

○着用期間：特に設定していない。冬の制服を着用時で、寒く感じられたら着用してよい。

＜男子＞

- セーターやトレーナー、学校のジャージや体操服
- 形：V首か丸首
- 色：白、黒、紺、灰、茶系統
- 柄：無地を基本とするが、ワンポイントや派手でない細いライン程度は良い。

＜女子＞

- セーターや体操服
- 形：V首
- 色：白、黒、紺、灰、茶系統
- 柄：無地を基本とするが、ワンポイントや派手でない細いライン程度は良い。

【着用不可な類】

- ・派手な色や柄の類
- ・ハイネックの類
- ・学校ジャージ以外のジャージやスウェットの類
- ・体操服以外の丸首等で、胸元が制服の下から見える類（女子）

★着用するときの注意

- ・上着の袖や裾、胸元（女子）からセーター類を出さない。



- ・シャツ類はズボンの中にしっかりしまう（男子）。

冬の防寒着について

コロナウイルス感染症対策で換気をしなければいけないため、教室内が例年以上に寒くなるのが予想されます。その対策として以下の内容を認めます。

○タイツ(スパッツなどを含む)を履いてよい

※色は黒のみ。ファッション性の高いもの、レギンス、7分丈のものは×

分厚いタイツや足の指先まで覆うタイツの場合は靴下を履かなくてよい。

○ひざ掛けを使用してよい

※色や柄などの指定はなし。移動中などに体に巻く、肩にかける使い方は×

使わない場合は椅子の上にたたむ or かばんにしまう。

○教室でカーディガン・ジャージを着てよい

※カーディガンの色は派手でない無地のもの。ワンポイントは可。

カーディガン・ジャージともに制服の上から着てよい。

○掃除などで外にでる時にはウインドブレーカーを着てよい

※ジャージを着用した上で、それでも寒いときに着てよい。

【注意点】

◎カーディガンやジャージなど使用しないときは必ずかばんにしまう

◎基本的な身だしなみが整った上での使用